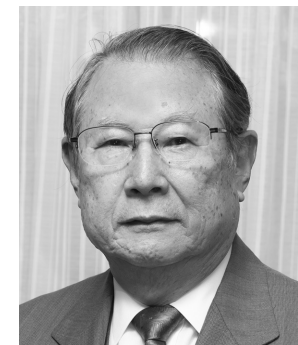


# 政治家石橋湛山の戦後史上の足跡

立正大学名誉教授、平和祈念展示資料館館長  
増田 弘



- \* 湛山研究を始めた経緯について
- \* 人間湛山を知るための三つの道標
- \* 時勢と格闘した湛山の言説
- \* 自由党から政界に進出した理由
- \* 日本の再建策でGHQと対立
- \* 公職追放された背景
- \* 日中関係を支援した湛山の視点
- \* 湛山の動向を警戒し続けたアメリカ
- \* 自民党総裁選の勝因は何だったのか
- \* 晩年は日中米ソ平和同盟構想に努力

山縣 それでは開会いたします。（拍手）

石橋湛山といえば増田先生、増田先生といえば石橋湛山というぐらいに、増田先生は過去、東洋経済だけではなく、いろんな出版社から石橋湛山に関する本をたくさん書かれておりまして、現在でも論文を書き続けていらっしゃるということ、今回はこういう大きな本にまとまったということがあります。

慶応大学を出られまして、東洋英和女学院大学の教授をなさって、それから立正大学の特任教授をされました。非常に特筆すべきこととしては、立正大学の石橋湛山研究センターの初代センター長をなさって、それから、石橋湛山研究学会の初代の会長をなさって、こういったものの上上げをなさった方です。石橋湛山研究

学会では、私は名ばかりですけども副会長として一緒にさせていただいたことがあります。それから、ここでは当たり前といえば当たり前ですけども、1990年に石橋湛山賞を受賞されております。

石橋湛山は、過去に経済倶楽部で自ら盛んに講演をされて、世の中にいろんなものを発信する作業をずっと続けておられましたけれども、今日は湛山ゆかりの経済倶楽部で湛山について語っていただくということで先生をお招きしました。

先生、よろしく願いました。（拍手）

湛山研究を始めた経緯について

増田 皆さんこんにちは。ただいま過分なご